

令和4年度 安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 会議概要

- 1 会議名 令和4年度 第3回安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会
- 2 日 時 令和5年2月22日（水）午前10時00分から午前11時00分まで
- 3 場 所 豊科交流学習センターきぼう 多目的交流ホール
- 4 出席者 太田 寛 会長、佐藤 栄治委員（代理 高澤氏）、石坂 公明委員（代理 中川氏）
飯田 史晴委員、越野 武一委員、土肥 照佳委員（代理 千野氏）
奥山 修司委員、千國 充弘委員、斎藤 正委員、武井 学委員（代理 胡桃氏）
高橋 秀生委員、笠原 健市委員、二條 宏昭委員（代理 藤本氏）、松井 道夫委員
増田 早苗委員、中村 豊江委員、大谷 高委員、山崎 徳昭委員
小岩井 清志委員、耳塚 喜門委員、大平 研二委員、大内 清彦委員
渡辺 瞳宏委員、西郷 靖純委員、園田 弘世委員、平林 洋一委員、渡辺 守委員
鳥羽 登委員、野口 武史委員、今吉 聰委員、矢口 泰委員
事務局：黒岩政策経営課長、藤澤企画担当係長、企画担当主査中嶋、企画担当主査内川
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 記 者 1人
- 7 傍聴者 2人
- 8 会議録作成年月日 令和5年2月23日

協議事項等

◎会議次第

- 1 開 会
- 2 あ い き つ
- 3 協 議 事 項
- (1) 令和5年度安曇野市地域公共交通協議会事業計画案について
(2) 令和5年度安曇野市地域公共交通協議会予算案について
(3) 令和5年度安曇野市地域公共交通協議会監事の選任について
(4) 安曇野市地域公共交通計画の策定について
(5) 安曇野市地域公共交通協議会規約の改正について
(6) 令和5年度各路線運行計画案について
- 4 報 告 事 項
- (1) デマンド交通の充実に向けた取り組みについて
(2) その他路線運行計画について
- 5 そ の 他
- 6 閉 会

3 協議事項

- (1) 令和5年度安曇野市地域公共交通協議会事業計画案について

【事務局説明】・・・**資料1**

- ・デマンド交通、コミュニティバス（定時定路線バス）を運行。
- ・既存公共交通の充実に向けた取り組みとして、デマンド交通の継続的な運行改善を図る。
- ・新たな取り組みとして、①デマンド交通のLINE予約導入、②運行時間延長の実証運行、
③ミーティングポイントの設置、④デマンド車両のデザイン統一を行う。

- ・市地域公共交通計画の推進のため、設定した施策を実施する。

《承認》

(2) 令和5年度安曇野市地域公共交通協議会予算案について

【事務局説明】・・・[資料2]

- ・予算額は、前年比45,835千円の増。主な増額は、委託料として5,822千円、運行費として39,369千円。

《承認》

(3) 令和5年度安曇野市地域公共交通協議会監事の選任について

【事務局説明】・・・[資料3]

- ・協議会の会計監査を行っていただく委員の選任。事務局案として、飯田委員、高橋委員を提案。

《承認》

(4) 安曇野市地域公共交通計画の策定について

【事務局説明】・・・[資料4]

- ・これまでの協議会においてご議論をいただきており、大きな変更は行っていない。
- ・パブリックコメントを実施したが、意見はなかった。
- ・計画期間は令和5年度からの5年間となる。本法協議会にて評価いただき、必要に応じて見直しを行っていく。

【委員意見】

- ・県内では北信濃エリアでMaaSの展開を進めている。移動手段の検索だけでなく、様々なサービスを一つにつなげていく取り組みである。データを蓄積することで、新しいサービスや交通手段の展開も期待できる。

【会長】

- ・安曇野市においては、大糸線、篠ノ井線とともにsuicaに対応していない。こちらの対応についても検討いただきたい。

【委員意見】

- ・全県の地域公共交通会議において、県内の路線バスに地域連携ICカードを搭載していくという方針を決定した。県でも導入経費の一部を補助することとしている。

《承認》

(5) 安曇野市地域公共交通協議会規約の改正について

【事務局説明】・・・[資料5]

- ・地域公共交通計画の策定に伴い、協議会規約の一部について修正する。

《承認》

(6) 令和5年度各路線運行計画案について

【事務局説明】・・・[資料6]

- ・あづみんの運行については、例年通りで運行範囲・運行時間・運賃等の変更はない。
- ・定時定路線は、電車との接続の関係でJRの3月ダイヤ改正を反映し、時刻表を変更する予定。その他の変更事項はない。

【委員意見】

- ・来年度の国庫補助の見込みはないのか。
- ・ミーティングポイントの設置について、実際に設置した場所と次年度の計画についてどう考えているか。

【事務局回答】

- ・令和4年度の予算として計上している国庫補助は、地域公共交通計画策定のための調査業務に対する補助である。デマンド運行にあたってはフィーダー系統補助を受けており、令和5年度も交付を受ける予定であるが、補助金が当協議会ではなく直接運行事業者へ支払われる仕組みとなっていることから、当協議会の予算書には計上していない。
- ・ミーティングポイントについては、現在調整中であり設置には至っていない。民地に設置するために調整が難しい側面もある。

《承認》

【耳塚委員説明】・・・[資料7]

- ・あずみ野周遊バスについて、令和5年度は4月29日から10月29日までの運行を予定。
- ・70日、延べ93便の運行となる。

《承認》

【耳塚委員説明】・・・[資料8]

- ・中房線について、令和5年度は4月28日から11月5日までの運行を予定。192日の運行。

《承認》

4 報告事項

(1) デマンド交通の充実に向けた取り組みについて

【事務局説明】・・・[資料9]

- ・今年度の取り組みについて、報告。
- ・アプリからの予約は、1月末の時点で全体の約23%。即時予約も可能としているが、件数としては全体の5~6%程度。
- ・利用者への周知、高齢者のスマート操作への抵抗感、キャンセル率の高さが課題となっている。
- ・土曜日の実証運行は、一日あたり70人の利用があった。行き先は医療施設や店舗が多く、平日と比べて大きな違いはない。利用者数は平日の20~25%程度であったが、一定の利用は確認できた。
- ・ミーティングポイントについては、施工に向けて調整を行っている。
- ・デマンド車掌の乗車については運行事業者と調整しているが、人材確保や有事の際の補償など導入にあたって課題がある。

《確認》

(2) その他路線運行計画について

【小岩井委員説明】・・・[資料 10]

- ・信州まつもと空港シャトルバスについては、令和 5 年 3 月 26 日から運行する。

《確認》

5 その他

【委員意見】

- ・車両のラッピングについては、周遊バスに実施することに効果があると考えている。可能なか検討してほしい。
- ・朝夕のデマンド交通の時間延長は、ぜひ市役所職員が利用できるように、通勤手当を電子マネーで支給して地域交通を支えることを検討してほしい。
- ・公共交通の乗務員として、市役所職員で退職が近い職員に二種免許を取得してもらい、朝夕の時間帯の運行を兼業することができないか。地域交通を市役所全体で支えることができないか、検討してほしい。